

生理用品

すべての県立学校で
プライバシーにも配慮し
無償提供します



千葉県教育委員会は12月20日、2022年1月から全ての県立学校で、生理用品を「非対面式」で無償提供することを明らかにしました。

県教委は7月から県立学校62校のモデル校で試行し、「非対面及び無記名で生理用品の提供を利用した生徒も多く」「急な対応が必要となった生徒等に対し、気兼ねなく利用できる場を整えることができ、生徒が希望する支援を受ける機会の確保につながった」とし、今回の結果をいかしました。

トイレ、同洗面所等、どこに設置するか、は各学校が決めます。特別支援学校は、個々の生徒の実情に応じた対応となります。これまで行っていた保健室などでの「対面式」も継続します。

カード記入やスマホ入力強制しない

県教委は「非対面式」で利用する際、カードやスマホ（QR）に日付や氏名、個数、理由を記入・入力する、といいますが、あくまで「任意で強制ではない」と説明しています。事実上、誰にも言わずに黙って使えます。

ほかの公共施設にもひろげよう

コロナ禍、「生理の貧困」が社会的な問題となる中で、市民と力をあわせ、一步前進させることができました。この間、ネット・アンケートなどを行ない、議会でいく度もとりました。引き続き、ほかの公共施設などにひろげるよう県に求めます。

